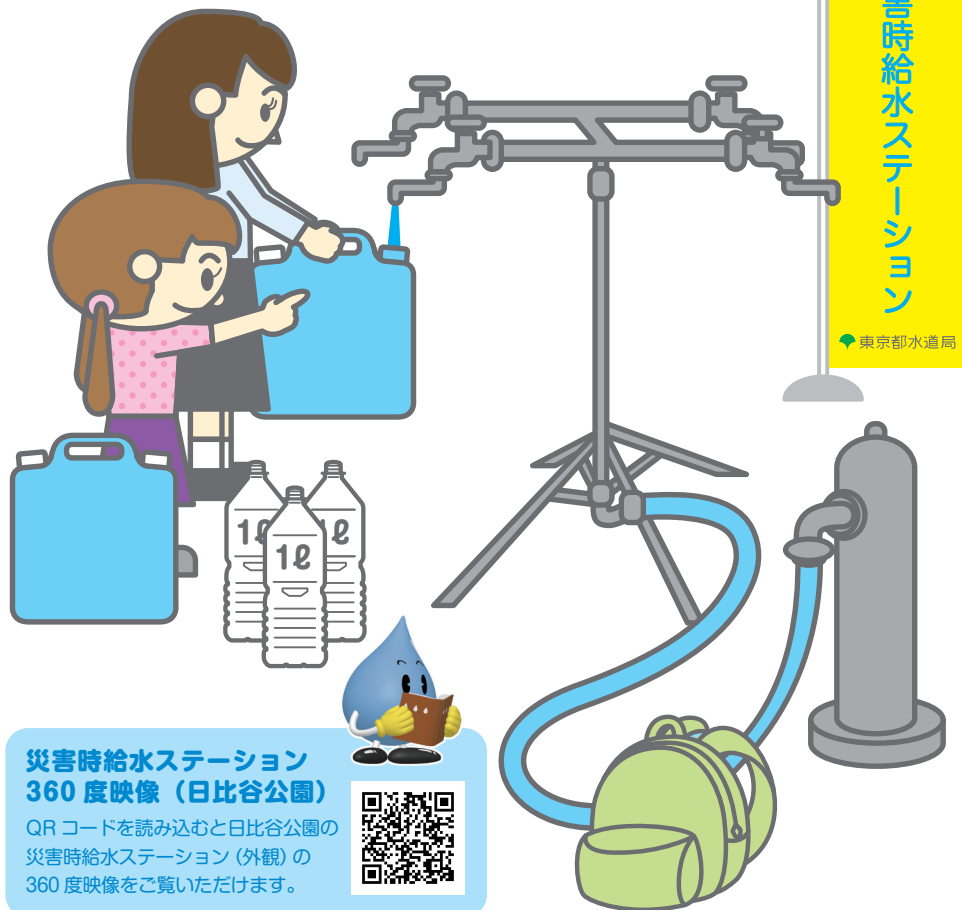


# 知っ得! 震災への備え

いざという時のために、水のくみ置き方法や災害時の水の配布場所・方法等を事前に確認して、震災への備えをしましょう!



## 災害時給水ステーション 360度映像 (日比谷公園)

QRコードを読み込むと日比谷公園の災害時給水ステーション(外観)の360度映像をご覧いただけます。



## 水のくみ置き方法のポイント

水のくみ置きを習慣に!

- ①清潔でふたのできる容器に口元までいっぱい水道水を入れます。
- ②直射日光を避ければ、常温で**3日**、冷蔵庫で**10日程度**保存できます。
- ③人間に必要な水の量は1人1日3Lです。この量を目安に3日分程度のくみ置きをしてください。

※蛇口から直接注いでください。  
浄水器を通したり、沸かしたりすると消毒用の塩素が除去されてしまいます。

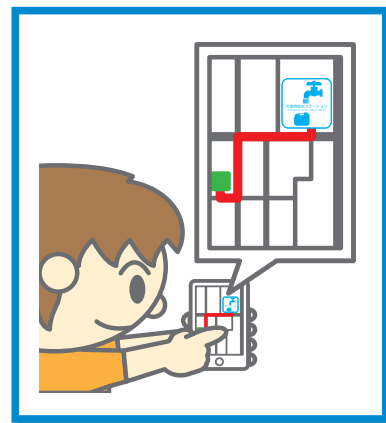


※L=リットルです

## 災害時給水ステーション

- ①都内には水道施設や地下応急給水槽の災害時給水ステーションが**215か所**あり、お住まいからおおむね**半径2km以内**に1か所設置されています。
- ②災害時給水ステーションにお越しの際は清潔な容器(ポリタンクなど)や水を運ぶためのカートやリュック等を必ずお持ちください。開設状況は水道局ホームページなどで公表します。

※このほかにも、避難所応急給水栓や避難所付近の消火栓、給水車等の補給により水を蓄えた仮設水槽を活用する災害時給水ステーションがあります。



災害時給水ステーションの場所は、水道局ホームページや水道キャラバンホームページからご確認いただけます。

水道局ホームページ

水道キャラバンホームページ



災害時給水ステーションは  
このマークが目印

